

新型インフルエンザ

ワクチンの接種

今回の新型インフルエンザは感染力は強いですが、多くのかたはかかっても軽症のまま回復しており、またタミフルなどの治療薬も有効です。

しかし、糖尿病やぜんそくなど基礎疾患のあるかたや妊婦のかたなどは重症化する可能性があります。

死亡者や重症者をできる限り減らすことと、患者が集中発生して医療機関が混乱することを防ぐことを目的に、国が主体となりワクチン接種が行われます。

Q1 優先接種対象者は？

- (1) インフルエンザ患者の診療に直接従事する医療従事者（救急隊員を含む）
- (2) 妊婦及び基礎疾患を有するかた
- (3) 1歳から小学校3年生に相当する年齢の小児
- (4) 1歳未満の小児の保護者、優先接種者のうち、予防接種が受けられないかたの保護者など

(その他の対象者)

- 小学校4年生から6年生、中学生、高校生に相当する年齢のかた
- 高齢者（65歳以上）

Q2 何回接種を受ければよいの？ 費用は？

現段階では20代から50代の健康な医療従事者については1回接種、13歳未満のかたについては2回接種で、それ以外のかたについては、今後専門家の意見を聴取しながら判断するとされています。

Q3 季節性インフルエンザワクチンと新型インフルエンザワクチンは同時に接種できるの？

医師が必要と認めた場合には、同時接種が可能です。

Q4 ワクチン接種によって引き起こされる症状（副反応）はどのようなものがあるの？

比較的頻度が高いものとして、接種部位の発赤、腫脹、疼痛があります。また全身性の反応として、発熱、頭痛、悪寒、倦怠感などが見られます。また、まれにワクチンに対するアレルギー反応（発疹・じんましん・発赤と掻痒感）が見られることもあります。

Q5 妊婦が接種しても、子どもが奇形で産まれる心配はないの？

日本で使用されているワクチンは生ワクチンではないので、妊婦に対して特別重篤の副作用は起こらないと考えられ、妊娠中の全ての時期において接種可能です。妊娠初期に接種しても奇形のリスクは少ないとの研究結果もあります。

Q6 接種スケジュールの目安は？

優先的な接種対象者などについては、新型インフルエンザに罹患した場合、重症化するリスクが高いと考えられるため、優先的に接種機会が提供されます。

今回の新型インフルエンザワクチン接種は、あくまでも個人の意思が尊重されます。優先接種対象者についても接種義務が生じるものではなく、希望者については接種を可能とするものです。

